

海外生活 エッセー

シドニー事務所

オーストラリアにおける、自然と観光の両立の取り組み

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 棟方 守仁 (青森県黒石市派遣)

オーストラリアと聞くと、広大な大陸を思い浮かべる方が多いでしょう。しかし、その周辺には、8,000以上の島々があり、それぞれが異なる自然や動物、風景を有しています。オーストラリアでは、こうした島々における観光も振興しているところですが、島しょ部であるがゆえに、観光が盛んになると同時に、自然への影響も、より大きくなりえます。オーストラリアでは、こうした貴重な自然を将来にわたって保護していくことも重視しています。

➔ 自然保護区としてのカンガルー島

カンガルー島は、オーストラリア南部のアデレードから、飛行機やフェリーでアクセスします。野生動物の楽園として知られており、野生のカンガルーやコアラ、アシカと出会える場所として人気を集めています。また、「リマーカブル・ロックス」という、長年の強風と雨によって作られた奇岩も有名です。こうした自然を積極的に保護するために、カンガルー島では、島の多くを自然保護区として指定しています。一部の自然保護区内では、自然保護官（レンジャー）の指示のもとで、ツアーによってのみ、行動ができるようにしています。

➔ タスマニア州における 環境保全・多様性の維持

「タスマニア」は日本でも耳にしたことがあると思います。タスマニアはオーストラリア南東部に位置する島であり、行政区としては、オーストラリアで唯一の、島のみで構成される州です。本島のほか、その周辺に位置する島々でも、野生動物や自然の風景を楽しめる場所として知られています。

島のみで構成される州という特徴から、タスマニア州独自の環境保護の取り組みが行われています。タスマニ

ア州内には複数の国立公園や自然保護地域が設けられており、世界遺産指定もなされています。そのうえで、生物多様性および絶滅危惧種の保護を目的として、その生息環境を新たに作る取り組みもなされています。また、植物の保全のため、種子の採取といった取り組みも、タスマニア種子保護センターで行われています。

➔ 自然エネルギーの利用を進める ロットネスト島

ロットネスト島は、西オーストラリアの沖合に位置しており、島全体が自然保護区として指定されています。「クアッカワラビー」などの野生動物が有名です。

自然保護区としての特徴から、島への車の乗り入れは禁じられています。そのため、島内の移動は自転車などに限られます。そうした形で現地を見てもらう、ということに意義を見出してもらうことも大切だと感じられていると思います。

また、風力発電などを使用し、エネルギーについてもできる限り島に負荷をかけない形をとろうとしています。ロットネスト島のクアッカワラビー



➔ 自然と観光の両立のために

日本でも、年々観光客が増加する中で、都市部だけでなく、各地へ訪問する人たちが増えています。そうした人たちを引き付けるのは、その土地ならではの自然をはじめとした魅力です。自然と観光の持続的な両立のために、オーストラリア各地の取り組みを参考にすることができると感じています。